

承認	視覚障害者誘導用ブロック・警告ブロック														RST	作成					
	実施者 愛敬 重之 実施期日 2011年3月11日 調査箇所: 桑名市本庁舎・中央公民館・市民会館・桑名市民病院														○	○					
ハザード (危険源)	危険・有害状態の洗い出し			危険の重みづけ(リスクアセスメント)				リスクコントロール				対策後の(リスクアセスメント)				結果検証					
(設備・作業・状態)	(表現例) ○○が△△して□□になる、又は○○が△△なので□□になる等と危険を推測する			リスクの見積り		リスクレベル評価		改善優先順位		対応策				リスクの見積り		リスクレベル評価		結果検証			
通路(階段)ブロックの設置違い	各公的施設において「視覚障害者誘導用ブロック」の設置方法があいまいで視覚障害者や高齢者が転倒して脚や腕など骨折する			ケガの程度 A	発生可能性 B	近づく頻度 C	リスクポイント (合計値)	リスクレベル	改善優先順位	【桑名市担当課記入】何をどのように				ケガの程度 A	発生可能性 B	近づく頻度 C	リスクポイント (合計値)	リスクレベル	法令に照らして問題	リスクレベル再評価	検証者サイン
				7	1	2	10	II	1	新しい病院が出来る際には、法律に基づいたブロックを必ず設置します。								ハリアフリー新法より			
										担当	期限										
										総務・教育・保健福祉	新病院完成時期										

参考)危険の重みづけの方法

- ①リスクの見積りをします
尚、リスク見積り時に意見が分かれたときは、大きい値を採用します
- ②リスクポイント(合計値)を基に、リスクレベルを評価します

リスクの見積り基準			リスクレベル評価基準			評価及び対策方針			
ケガの程度(A)	発生可能性(B)	危険に近づく頻度(C)	リスクポイント	リスクレベル	評価	対策方針			
死亡、永久労働不能	10点	確実である	6点	頻繁	4点	16~20	IV	許容できない	作業を中止して対策する
重症、障害の残る災害	7点	可能性が高い	4点	時々	2点	11~15	III	重大な問題あり	速やかに対策する
休業災害、不休業災害	5点	可能性がある	2点	少ない	1点	7~10	II	問題が多少ある	優先的に対策いたします
軽度の微少災害	2点	少ない	1点			4~6	I	許容できる	指導教育をする

(現場確認写真及びメモなど記入しても可)

市民会館階段	中央公民館階段	本庁舎1Fにはトイレまであります	市民病院はまったくありません。	参考例(メディアライブ)
				
キラキラの施設にはありません。 見難いブロックです。	キラキラ施設にはありません。 メディアライブにはありません。	2Fにはまったくありません。	新病院では必ず法律に基づいたブロックを設置します。 (伊藤保健福祉部長回答)	参考例(子育て支援センターキラキラ)
				

三重県ユニバーサルデザインの町づくり推進条例施行規則と財団法人国際交通安全学会の両方を網羅されております施設です。

伊藤部長ありがとうございました。
必ず新病院では統一したブロック設置をお願いします。
新病院完成時には、再リスク見積もりさせていただきます。